

CFP[®]資格は北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアを中心に世界24カ国・地域で導入されている、「世界が認めるプロフェッショナルFPの証」で、FPの頂点とも言えるものです。原則として一国一組織により資格認定が行われており、日本においては日本FP協会が認定しています。

CFP[®] 資格取得のメリット

信頼が深まる

「CFP[®]の方に相談したい」というお客様からの要望があった。
(独立系FP)

お客様からの信頼が厚くなった。
(金融機関勤務)

セミナー講師や執筆の依頼等チャンスや仕事の幅が広がった。
(独立系FP)

自信がつく

CFP[®]認定者検索システムに登録し、仕事の依頼が増えた。
(独立系FP)

チャンスが広がる

FPのプロとしてCFP[®]資格が必要なものであると、FP実務を通して実感している。
(証券会社勤務)



CFP[®]認定者には、国際CFP[®]組織FPSBが認めた認定基準に基づいて、「CFP[®]ライセンスカード」と「CFP[®]認定証」を日本FP協会が発行します。

※日本FP協会のホームページでは、生活者がFP相談を希望した際に、地域別、相談分野別にCFP[®]認定者を検索できる「CFP[®]認定者検索システム」を開設しています。CFP[®]認定者になると、本人の希望でこの検索システムに登録することができます。

CFP[®] 資格認定基準

- 日本FP協会が実施するCFP[®]資格審査試験6課目に合格すること。
- 日本FP協会が実施するCFP[®]エントリー研修(※1)の受講・修了と通算3年以上の実務経験(※2)があること。
- 日本FP協会が定めるCFP[®]認定者諸規程を順守すること。

(※1) CFP[®]エントリー研修とは、CFP[®]資格審査試験6課目すべてに合格した方を対象に「通信+集合研修」で実施します(年2回程度実施予定)。

CFP[®]資格審査試験に6課目合格した日から起算して5年を経過するまでに受講を修了しなければなりません。

通信研修(6ステップ及び倫理・コンプライアンスの学習)+集合研修(1クラス最大18名の相談実務ロールプレイング)の受講を持って

エントリー研修が修了となります。研修修了後にAFP認定者として資格更新に必要な継続教育単位(全課目15単位)が付与されます。

ただし、通信研修で課題の提出がない場合や、集合研修を欠席された場合等は研修の修了となりませんので、継続教育単位の付与はありません。

(※2) 通算3年以上の実務経験とは「FPの6ステップのいずれかの経験」を幅広く指すものであって、業種・職種・雇用形態等により、狭義に定義するものではありません。また、対象期間は、全6課目合格前10年~合格後5年の間になります。経験年数が不足するときは、実務経験とみなされる研修を受講する方法もあります。

新規登録料及びCFP[®]会費

CFP[®]資格の新規登録時に登録料として5,000円(課税対象外)の納入が必要です。

CFP[®]資格の認知普及等の費用に充当するCFP[®]会費として、年会費とは別に毎年8,000円(課税対象外)の納入が必要です。

CFP[®]資格更新について

2年毎に「FP実務と倫理」2単位以上を含む3課目以上で30単位以上の取得と更新手続きが必要です。

※単位取得した証明書類を、単位取得日から3年間保管してください。資格更新にあたって、証明書類の提出が必要な場合があります。